

各 位

会 社 名 東邦レマック株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 笠井 庄治  
 (JASDAQ コード番号 7422)  
 問合せ先 取締役経営企画室長兼管理  
 本部長兼総務部長 高野 裕一  
 (TEL. 03 - 3832 - 0132)

特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年12月期において、下記の通り特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行いましたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月2日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

事業設備を業績悪化に伴い「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失として29百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収の可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩すこととなり、法人税等調整額に94百万円を計上いたしました。

3. 通期業績予想の修正 (平成29年12月21日～平成30年12月20日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,200	50	140	93	円 銭 184.11
今回修正予想 (B)	10,871	△252	△144	△301	△591.11
増減額 (B-A)	△329	△302	△284	△394	—
増減率 (%)	△2.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年12月期)	11,446	△35	102	76	150.34

(注) 平成30年6月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年12月期の1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

修正の理由

売上高は、低価格商品の販売構成比増加による販売単価の下落と、婦人靴と紳士靴の不振による販売数量の減少により、前回予想を下回る見込みとなりました。営業利益減額の主な要因は、低利益率商品の販売数量が構成比で増加し、商品の評価減が増加したことによって、売上総利益計画から、利益率が2.1ポイント、金額が3億6百万円下回ったことにより、前回予想を下回る見込みとなりました。経常利益は、営業外収益が計画を上回りましたが、営業損失が大きかったため、前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益は、経常損失が大きかったことと、減損損失29百万円の計上及び繰延税金資産の一部取崩しに伴う法人税等調整額94百万円の計上により、前回予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記予想は、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上